

事業シート19				作成： 令和7 年 7 月	
取組テーマ	つくる	多様な産業を生かした岩槻ブランドの開発		事業区分	継続
事業名	さいたま市伝統産業活性化事業	事業期間	～令和7年度	所管	経済局商工観光部 商業振興課
事業概要：			図・イメージ 		
さいたま市の貴重な財産である伝統産業及び伝統産業事業所を本市特有の地域資源として指定することにより、その存在と魅力を市内外に広く発信し、事業者の意欲向上及び後世への継承を図り、もって地域経済の活性化に取り組みます。					
事業目標及び事業方針 ・本市の伝統産業及び伝統産業事業所の魅力を市内外に発信し、その知名度向上を図るとともに、商業施設やイベント等への出店を支援し、事業者の意欲向上及び後世への継承を図ります。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信	ガイドブック・漫画冊子（電子版）周知用チラシの発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信
取組実績	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。	ガイドブック・漫画冊子（電子版）周知用チラシの発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。	
実績評価	B	B	B	B	
実績評価の理由	計画どおり、ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。引き続き、本市の伝統産業及び伝統産業事業所の魅力を発信していきます。	計画どおり、ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。引き続き、本市の伝統産業及び伝統産業事業所の魅力を発信していきます。	計画どおり、ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。引き続き、本市の伝統産業及び伝統産業事業所の魅力を発信していきます。	ガイドブック・漫画冊子（電子版）周知用チラシの発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。引き続き、本市の伝統産業及び伝統産業事業所の魅力を発信していきます。	

事業シート20				作成： 令和7 年 7 月	
取組テーマ	つくる	多様な産業を生かした岩槻ブランドの開発		事業区分	継続
事業名	岩槻駅周辺地域活力創出事業	事業期間	～令和4年度	所管	都市戦略本部 未来都市推進部
事業概要： 岩槻に訪れる来訪者に対し、岩槻ならではの土産商品の商品開発や販売を行うための支援を行います。 また、令和元年度に完成した「岩槻土産ブランド」を起点として、岩槻区内の他の職人や作り手が参画し、自律的に土産商品の販売が拡充されるよう、PRなどの支援や調整を行います。			図・イメージ  委託販売の様子 (にぎわい交流館いわつき) 岩槻土産ブランド		
事業目標及び事業方針 ・東京オリンピック・パラリンピックなど、国内外から多くの観光客が見込まれることから、国内外から当地区へ訪れてもらうためのプロモーションの実施やおもてなしの醸成、またオリンピック開催以降も当地区に継続的に訪れてもらえる仕組みづくりを行い、交流人口の増加を図ります。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	岩槻土産ブランドの販売を起点として、各作り手が自律的に商品開発や販売を行う仕組みづくりを支援する。	岩槻土産ブランドの販売を起点として、各作り手が自律的に商品開発や販売を行う仕組みづくりを支援する。	—	—	—
取組実績	過年度に多言語対応化した「岩槻土産ブランド商品カタログ」を増刷し、市内公共施設等に配架しました。 また、岩槻土産の各作り手と、今後の自律的な商品開発や販売を行う仕組みづくりについて検討を行いました。	—	—	—	—
実績評価	B	-	-	-	
実績評価の理由	多言語対応化した「岩槻土産ブランド商品カタログ」を広く配架することで、市内外に対し、岩槻の認知度向上、交流機会の増加を図ることができました。 今後も引き続き、岩槻土産ブランドを通して、岩槻の認知度向上、交流機会の増加を図りながら、自律的な商品開発や販売を行う仕組みづくりについて検討を行います。	岩槻土産ブランドの販売を起点として、地域事業者が自律的に商品開発や販売を行う仕組みが構築され、事業目的を達成したため事業を終了しました。	岩槻土産ブランドの販売を起点として、地域事業者が自律的に商品開発や販売を行う仕組みが構築され、事業目的を達成したため事業を終了しました。	岩槻土産ブランドの販売を起点として、地域事業者が自律的に商品開発や販売を行う仕組みが構築され、事業目的を達成したため事業を終了しました。	

事業シート21				作成：令和7年7月	
取組テーマ	つくる	多様な産業を生かした岩槻ブランドの開発		事業区分	新規
事業名	地元農産物の普及に向けた取組	事業期間	～令和7年度	所管	経済局農業政策部 農業政策課
事業概要：			図・イメージ  市民を対象とした花の寄せ植え講習会を実施		
事業目標及び事業方針 ・地場産農産物を使用した加工品を1品以上開発支援します。 ・市民向け地場産農産物に関する講習会を1回以上開催します。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	（取組内容） ①地場産農産物の加工品の開発支援 ②地場産農産物に関する講習会の開催 （目標値） ①1品以上 ②1回以上	（取組内容） ①地場産農産物の加工品の開発支援 ②地場産農産物に関する講習会の開催 （目標値） ①1品以上 ②1回以上	（取組内容） ①地場産農産物の加工品の開発支援 ②地場産農産物に関する講習会の開催 （目標値） ①1品以上 ②1回以上	（取組内容） ①地場産農産物の加工品の開発支援 ②地場産農産物に関する講習会の開催 （目標値） ①1品以上 ②1回以上	（取組内容） ①地場産農産物の加工品の開発支援 ②地場産農産物に関する講習会の開催 （目標値） ①1品以上 ②1回以上
取組実績	①6品 ②2回開催（令和3年6月23日及び令和4年1月19日）	①2品 ②2回開催（令和5年1月20日及び令和5年2月9日）	①2品 ①2回開催（令和5年6月20日及び令和6年2月8日）	①0品 ②2回開催（令和6年7月16日及び令和7年1月28日）	
実績評価	①A ②A	①A ②A	①A ②A	①C ②A	
実績評価の理由	①目標値を上回って達成しました。引き続き、1品以上の加工品開発支援に取り組みます。 ②目標値を上回って達成しました。引き続き、年1回以上の開催をします。	①目標値を上回って達成しました。引き続き、1品以上の加工品開発支援に取り組みます。 ②目標値を上回って達成しました。引き続き、年1回以上の開催をします。	①目標値を上回って達成しました。引き続き、1品以上の加工品開発支援に取り組みます。 ②目標値を上回って達成しました。引き続き、年1回以上の開催をします。	①目標値を達成することができませんでした。1品以上の加工品開発支援に取り組みます。 ②目標値を上回って達成しました。引き続き、年1回以上の開催をします。	

事業シート22				作成： 令和7 年 7 月	
取組テーマ	つくる	岩槻の地域固有の魅力づくり		事業区分	継続
事業名	城下町岩槻歴史散策	事業期間	～令和7年度	所管	岩槻区役所区民生活部 観光経済室
事業概要：			図・イメージ 		
岩槻区の歴史的・文化的な観光資源等を巡り、その良さに ふれてもらうことで交流人口の増加を図ります。 (例) 「岩槻城大構の跡を歩く」、「城主ゆかりのお寺めぐり」					
事業目標及び事業方針 ・城下町岩槻歴史散策の開催により区外からの来訪者を増やします。散策内容の更新や散策ガイド「語り部会」の研修 などにより、参加者の満足度90%以上とします。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%
取組実績	アンケート等による 参加者の満足度 94%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 94%	
実績評価	A	B	B	A	
実績評価の理由	参加者から高い満足 を得ているため、継 続して事業を行いま す。	参加者から高い満足 を得ているため、継 続して事業を行いま す。	参加者から高い満足 を得ているため、継 続して事業を行いま す。	参加者から高い満足 を得ているため、継 続して事業を行いま す。	

事業シート23				作成：令和7年7月	
取組テーマ	つくる	岩槻の地域固有の魅力づくり		事業区分	継続
事業名	岩槻散策マップ	事業期間	～令和7年度	所管	岩槻区役所区民生活部 観光経済室
事業概要：			図・イメージ		
岩槻の見どころを掲載した既存の「岩槻散策マップ」について、マップ上の休憩施設や立ち寄り所の情報をより充実させるなどマップを更新しながら、観光客へ広く岩槻の魅力を発信し、交流人口の増加と地域活性化を図ります。					
事業目標及び事業方針					
・岩槻区への来訪者に対し観光PRを行います。そのため、岩槻駅観光案内所などで岩槻散策マップの配布を実施します。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	岩槻散策マップの配布枚数 8,000枚	岩槻散策マップの配布枚数 8,500枚	岩槻散策マップの配布枚数 9,000枚	岩槻散策マップの配布枚数 9,500枚	岩槻散策マップの配布枚数 10,000枚
取組実績	岩槻散策マップの配布枚数 8,700枚	岩槻散策マップの配布枚数 17,300枚	岩槻散策マップの配布枚数 13,600枚	岩槻散策マップの配布枚数 26,300枚	
実績評価	A	A	A	A	
実績評価の理由	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言等後に岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	新型コロナウイルス感染症の行動制限が終わり、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	新型コロナウイルスの感染症法上の分類が引き下げられ、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	ウェブサイト、SNS等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	

事業シート24				作成：令和7年7月							
取組テーマ		つくる		岩槻の地域固有の魅力づくり		事業区分		継続			
事業名		半日観光ルート事業 (城下町岩槻ルート)		事業期間		～令和7年度		所管 経済局商工観光部 観光国際課			
事業概要：						図・イメージ					
国内外から本市を訪れる観光客に対して、徒歩と公共交通機関を利用して回遊していただき、本市の魅力を広く周知すること、また、市民に対しても市内の観光資源などを再認識していただくことを目的としています。 「城下町岩槻ルート」(8ルートのうちの1つ) …東玉人形の博物館、愛宕神社、岩槻人形博物館・にぎわい交流館いわつき、時の鐘、岩槻城址公園、酒蔵資料館、遷喬館など											
事業目標及び事業方針											
・半日観光ルートパンフレットの配布や市ホームページへの掲載を行い、半日観光ルートのPRを実施することで、来訪者の周遊を促します。											
事業計画（工程表）											
		R3		R4		R5		R6		R7	
取組内容 目標値		半日観光ルートのPR 観光資源の周知、周遊の促進		半日観光ルートのPR 観光資源の周知、周遊の促進		半日観光ルートのPR 観光資源の周知、周遊の促進		半日観光ルートのPR 観光資源の周知、周遊の促進		半日観光ルートのPR 観光資源の周知、周遊の促進	
取組実績		・各区役所、新都心バスターミナル等にパンフレットを配架し、本市来訪客、市民の周遊を促進しました。 ・埼玉フェアといったイベントで配布し、市外での観光資源の周知を行いました。		・各区役所、新都心バスターミナル等にパンフレットを配架し、本市来訪客、市民の周遊を促進しました。 ・各種イベントで配布し、市外での観光資源の周知を行いました。		・各区役所、新都心バスターミナル等にパンフレットを配架し、本市来訪客、市民の周遊を促進しました。 ・各種イベントで配布し、市外での観光資源の周知を行いました。		・各区役所、新都心バスターミナル等にパンフレットを配架し、本市来訪客、市民の周遊を促進しました。 ・各種イベントで配布し、市外での観光資源の周知を行いました。			
実績評価		B		B		B		B			
実績評価の理由		市内外でパンフレットを配布することで、本市の観光資源の周知や周遊促進ができたため。		市内外でパンフレットを配布することで、本市の観光資源の周知や周遊促進ができたため。		市内外でパンフレットを配布することで、本市の観光資源の周知や周遊促進ができたため。		市内外でパンフレットを配布することで、本市の観光資源の周知や周遊促進ができたため。			